

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ティンクルスター-neo		
○保護者評価実施期間	令和7年12月 1日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和7年12月 1日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が意見を伝えやすい環境づくりを行っている。	指導員が利用者の様子や表情の変化について日々の支援からよく観察し、表情などの変化がある際には指導員から声を掛け利用者の気持ちを汲み取ったり、共感して話を聞くことで、利用者にとって話しやすい環境から安心して意見を伝えることが出来ている。	個別に話したいことや言いにくいことなどを指導員に伝える方法として意見箱を設置し紙に話したい事や困っている事を書いて入れることをでより意見を伝えやすい環境作りを行っていく。
2			
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全体での活動は出来ているが、個人に合わせた活動は出来ない。	利用者の学年のばらつきや能力差がある為、一定のレベルでの内容ではできているが、個人個人のレベルに合わせた活動は出来ていない。	一人一人の課題を見つけ出し、課題を克服できるような、個別での活動内容を取り入れていけるよう職員間で話し合い工夫していく。
2	言葉での指示出しが多いので視覚からも伝えていけるようにしていく。	言葉での指示や声かけが多く、利用者に声かけや指示の意味や意図が伝わっていないことがある。また、分かりにくい言葉での声かけもあり、指示等が伝えきれていない。	言葉だけでなく、掲示物を増やしたり、絵カード等を作成し活用するなど視覚からも伝えたり、簡単に理解しやすい言葉を選択することで指示を理解しやすい様にしていく。
3			